

鯖江市にSDGs拠点

「女性資料館」整備へ

国連大使方針

バン格拉デシュ出身のアンワフル・K・チャウドリ

国連大使(左)が五日、鯖江市を訪れ、牧野百男市長



SDGs推進拠点施設への期待などを話すアンワフル・K・チャウドリ(左)国連大使と牧野百男市長(右)鯖江市のめがね会館で

らとともに記者会見した。同市は国連が採択した持続可能な開発目標(SDGs)を積極的に推進しており、国連関係機関などと共同で、SDGs発信の拠点施設を市内に整備する方針を明らかにした。

チャウドリ大使は国連安全保障理事会議長などを歴任。二〇〇〇年に国連創設以来、初めて「女性の平和と安全保障」に焦点を当てた安保理決議書の草案を作成、採択させるなど、女性問題の第一人者とされる。

鯖江市はSDGsのうち「ジェンダー平等の実現」を軸に普及に取り組んでいる。整備する施設は「国連SDGs女性資料館(仮

称)で、場所はめがね会館(新横江二丁目)の九階。市の取り組みなどを世界へ発信する拠点とする。詳細な内容や整備時期は未定。同会館で開かれた会見で、大使は「(SDGs推進では)ローカルの活動がなければ、実例が生まれない。女性資料館は女性活

躍のために必要なニーズに応えられる場所になってほしい」と期待を寄せた。会見ではこのほか、国内最大級のファッションイベント「東京ガールズコレクション」に県眼鏡協会が主体となってブースを設けたり、モデルに眼鏡をかけてもらったりして参加するこ

とや、国連が定める国際女性デー(三月八日)に眼鏡を使ったキャンペーン活動を実施することも発表された。大使は七日まで鯖江市に滞在。六日は中央中学校で講演、最終日は郷陽会館で開かれる「さばえSDGs推進シンポジウム」に出席する。(玉田能成)

SDGs 「地方から推進大切」 国連大使が知事と懇談

鯖江市で七日に開かれる「SDGs推進シンポジウム」に合わせて来日したアンワフル・K・チャウドリ大使が五日、県庁を訪れ、杉本達治知事と懇談。「地方からSDGsを進めることが大切」と協力を求めた。

チャウドリ大使はバン格拉デシュ国連常駐代表。国連で女性問題に取り組む、昨年と今年には国連ニューヨーク本部SDGs推進会議の議長を務めた。

この日の懇談で、「SDGsに積極的な福井県や鯖江市にいられてうれしい」とあいさつ。福井は女性活躍のため積極的に取り組んでいると評価し「ジェンダー平等を掲げたSDGsのターゲットの一つの達成度が上がると、他のターゲットの達成度も上がる。今後も続けてほしい」と話した。杉本知事は「SDGsのレベルを上げられるよう努力を続ける」と応じた。

(飯下千晶)



杉本達治知事(右)と懇談するアンワフル・K・チャウドリ(左)国連大使(中央)県庁で